



厚木ロータリークラブ週報

JAPAN 第2780地区

Atsugi Rotary Club Weekly

会副幹副会報	会幹事	長事	西柳前田	西柳前田	洋一純賢
委員	員	員	小	林	明透

ロータリーの未来はあなたの手の中に

2009～2010 国際ロータリー会長 ジョン・ケニー

例会場 厚木商工会議所5F 大会議室
 例会日 毎週火曜日 12:30～
 事務所 厚木市栄町1丁目16番15号 厚木商工会議所内

http://www.atsugi-rotary.jp/ メールアドレス info@atsugi-rotary.jp TEL.046-222-5811 FAX.046-222-5821

第2402回例会（1月12日）☆司会 常磐重雄 副SAA

点鐘 …西嶋洋一 会長

斉唱 …奉仕の理想

ゲスト紹介

遠藤玲子様（故遠藤義夫会員夫人）
 宣 京哲君（厚木 RC 奨学生）
 大熊進子様（町田コダーイ合唱団）

会長報告

◎厚木市セーフコミュニティ推進協議会より
 ・平成 21 年度第 2 回厚木市セーフコミュニティ
 推進協議会開催について（通知）
 日時：2010 年 2 月 15 日（月）14 時～15 時 30 分
 場所：厚木市役所本庁舎 4 階 大会議室

委員会報告

◎ロータリー情報委員会（壽永純昭会員）
 1 月 12 日炉辺会談を行います。
 ◎クラブ会報・IT 委員会
 3RC 賀詞交歓例会 2401 号は次週に発行予定
 ◎ゴルフ同好会
 1 月 20 日（水）in 9：00 スタート、本厚木 CC

理事・役員会

2009～2010 年
 ◎第 7 回 理事・役員会
 日時：1 月 12 日（火）13：30～
 場所：厚木商工会議所 408 号室
 議題：1. 会長あいさつ 西嶋洋一 会長
 2. 例会行事 前田賢一 幹事
 ① 50 周年記念事業の今後の運営と会計について

②炉辺会談について

1/19（火）夜間「割烹 森」

③ PETS について

3/17（水）柳田純昭 副会長

④ IM について

3/21（日）厚木ロワジュールホテル
ホスト：厚木県央 RC

⑤ GSE について 3/22（月）～3/25（木）

⑥国際大会への出席依頼について

西嶋洋一 会長

⑦その他

次回理事会予定：2 月 2 日 例会終了後 408 号室

特別スマイル

西嶋洋一 会長 柳田純昭 副会長
 前田賢一 幹事 会田義明 副幹事

「厚木 3 クラブ合同賀詞交歓例会」では、ホストクラブとしての役割を無事果たすことができましたことは、会員皆様のお陰でございます。本当にありがとうございます。今年度も折り返し地点を過ぎ、ホッとしております。が、気を抜かずに残り半年、会員増強に力を入れて参りたいと思います。会員皆様の一層のご協力をお願いいたします。

西嶋洋一 会長 前田賢一 幹事

病気療養中でした遠藤義夫会員が昨年末 12 月 24 日にご逝去なされましたことは、誠に残念でございます。遠藤義夫会員の今日までのロータリー活動に対しまして、心より敬意を表し衷心よりご冥福をお祈りいたします。お通夜と告別式に際しましては、会員の皆様にお手伝いを頂きまして、無事務めあげさせて頂くことができました。誠にあり

今日のお祝い 「おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。」

* 入会記念日

滝澤 勇君 平成 21 年 1 月 20 日

今日の卓話（1 月 19 日）

「私のお気に入り Part1」

担当：黒柳智太郎君

会田義明君 平成 19 年 1 月 23 日

次回の卓話（1 月 26 日）

「ロータリー理解推進月間」

担当：地区情報副委員長 吉岡 敏君
ロータリー情報委員長 壽永純昭君

がとうございました。

遠藤玲子様 (故 遠藤義夫会員夫人)

生前、主人遠藤義夫が大変お世話になりました。葬儀ではロータリークラブの皆様にお手伝い頂き本当にありがとうございました。皆様お身体ご自愛下さい。

山口巖雄君

12月22日スマイル委員会吉岡さんに大へんお世話になりました。息子貴裕が社団法人厚木青年会議所理事長に就任しました。ロータリーの皆さんにお世話になります。親子理事長は厚木青年会議所、初めてだそうです。

高橋 宏君

皆様あけましておめでとうございます。先日は、入会記念日の記念品ありがとうございました。又、昨日、娘の成人式でロワジュールホテルの高倉さんにお世話になりました。ありがとうございました。

壽永純昭君

箱根駅伝、二年連続“まさかの坂”があり、母校東洋大が2連勝しました。万年シード境いを行ったり来たりと思っておりましたが、今年の校友会の寄附金はさらに多額になりそうです。うれしくてスマイルします。

櫻井靖次君

朝一番で家内の誕生日のお花が届きまして電話がありました。厚く御礼申し上げますとの事です。齢73才になります、現在二人共健康です。4月の金婚式迄は頑張れそうです。昨年暮24日又厚木ロータリークラブの良心が一人減りました。心が痛みます。

難波有三君

先週の3クラブ合同賀詞交歓会では誘導係の責任者だったにもかかわらず遅れてしまい、関係の皆様にご迷惑をおかけ致しました。また、本日の私の卓話では、私だけでなく幼稚園でも大変お世話になっている先生です。ご拝聴の程よろしく申し上げます。

会田義明君

大熊先生本日はようこそおいで下さいました。先生のご活躍はテレビで拝見させていただいております。失われつつある日本古来の遊びを継承することは素晴らしいことであると思います。まさか本日まで本人とお会いできるとは夢にも思いませんでした。これからもお体に気をつけていただき、今後のご活躍を祈念申しあげます。どうぞ本日はごゆっくりとお過ごし下さい。

黒柳告芳君

明けましておめでとうございます。前回の欠席とご挨拶でスマイルします。

松本好正君

家内の誕生日にきれいなお花をいただきましてありがとうございました。たいへん、よろこんでおります。

今日のお花

ろうばい
蠟梅 (櫻井靖次君)

卓話 (1月12日)



「わらべうたは心の離乳食」

講師：大熊 進子先生 (町田コダーイ合唱団主催)

担当：難波有三君

生まれたての赤ちゃんに、どんな身体になって欲しいとお母さんは思っているのでしょうか。多分健康で立派な身体をもって成長して欲しいと願うでしょう。生まれたてで何もわかるわけがないにも関わらず、お母さんは何かを赤ちゃんに話しかけます。そのときは決して大人に対するような言葉づかいや内容ではないはずで、乳幼児期になっても、その年齢に相応しいものを話題にするでしょう。食事面での離乳が始まった頃、精神と母国語においては、どのような離乳食が必要なのか？それがすなわち「わらべうた」といわれているものなのです。

では、わらべうたはどうやって子ども達の中に入れていったのでしょうか。短いとなえことばや調子の良い歌を聴いて、キャッキョと喜ぶ赤ちゃんを見て大人は「ああ、この子は目も見えるし耳も聞こえる」と安心するのです。はじめはこうして喜ばせてもらっていた赤ちゃんも、やがては大人の言葉のイントネーションを真似、自分も話そうとするようになります。しかしまだまだ大人のように行きません。食べ物と同じで子ども用の言葉が必要です。それがわらべうたなのです。

口調の良い、短い歌を口ずさむとなんだか良い気持ちになってくる。意味も分からず口ずさんでいたものが、あるとき突然体験と重なってスッと分かってくる。歌いながら身体を動かし、ご機嫌になっているだけが、あるとき突然身体がフワッと浮いたようになって足がしっかり大地についてくる。これがわらべうたなのです。

わらべうたはこうやって子どもを育ててくれる

だけでなく、仲間と一緒に遊んで遊ぶ喜びも与えてくれます。小さい子が出来ない、親切に教えてくれる仲間もいれば、突き放す仲間もいます。それが大人の世界の縮図です。でも教え込まれず自分で覚えていけるのがわらべうたです。勿論なかには何回やっても覚えられない子どももいるでしょう。それも人生なのです。幼児は踊るように歩きます。それは平衡感覚が育っていないから当然です。歌うように話します。優しいお店の語りかけを聴いて、言葉が理解できない分イントネーションに注意しているのでしょう。母国語のイントネーションそのままといっても言い過ぎではないわらべうたで幼児期の母国語教育がどの国でもなされています。

世界のわらべうたを調べてみると、どの国のわらべうたも音域が狭く、ペンタトニック的音階で出ていることがわかります。なぜなら子どもの音域はどの国の子どもも概して狭く、また、半音は難しいからです。賢い大人の知恵でしょう。平衡感覚がまだ育っていない子ども達は、イライラしてしまいます。したがってそういう子どもは情動的、言い替えばわがままです。そういう時わらべ歌は子供たちに何を与えてくれるのでしょうか？拍という理性の目を蒔いてくれます。拍とは鼓動のことです。心臓の鼓動が身体を健康を左右するならば、拍は音楽の健康を左右します。そして拍を身に付けられるということは、子どもの心に規律が身に付くということにつながるのです。

最近では国際的な家庭も増えましたが、どんな事があってもお母さんの言葉、母国語を最初にしっかり教えてあげなければいけないのです。そして、わらべうたはこの母国語を学ぶ入口にとっても適しています。わらべうたは無理強いて教え込むものではなく、伝えていく部分が多いものなのです。従って、

とても自然に子どもの心の中に入ることができるのです。

お母さんの出身が京都なら、子どもに語りかける時は、まず京都弁で、そして次に日本人としての共通語である標準語を学ばせ、そして第二外国語として何処かの国の言語を将来学ぶという段階を踏む事がとても大切です。あまり早くから外国語を教え込むのは良くないと思っています。

お母さん達には、子どもたちにしっかり日本語を教えてほしいと思います。なぜなら、平和、戦争、愛、死そういう事を子どもと話すとき、自分が一番得意な言語でないと、じっくり話せないでしょ。

人として大切なことを考えたり話したりする為に、どの国の子ども達もお母さんの言語を受け継いでいかなければならないのです。

この後、わらべうたや手あそびを実践。

後略。

訃報



去る 2009 年 12 月 24 日、遠藤義夫会員が永眠されました。ここに生前のご厚誼を深謝し、謹んでお知らせ申し上げます。

出席報告 <会員 42 名、出席対象 36 名>

12月22日例会	確定出席率 73.68%	1月12日例会	出席 31 名 欠席 5 名 出席率 88.89%
		<今回欠席> 金沢文明君・黒柳智太郎君・西迫一郎君・福住桂司君・門田高明君	